

*Luxman*

BELT DRIVE ANALOG PLAYER

PD-171A

*Owner's Manual*



このたびは、ラックスマンのアナログディスク・プレーヤー PD-171A をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

NHK がラジオの本放送を開始した 1925 年、錦水堂ラジオ部として創業されたラックスマンは、80 余年にわたって数多くの製品をオーディオファンや音楽ファンに届けてまいりました。その間、いつの時代にあってもオーディオと音楽を愛する人たちの熱い心は変わりませんでした。

音楽に込められたアーティストの情念を余さず忠実に再現する、そのときの感動の深さと機器への愛着の深さこそがオーディオにとっての最高の価値であると私たちは考えます。

縁あってラックスマン製品をお選びいただきましたことは、オーディオと音楽に対して私たちと同じ情熱と価値観を共有できることであると、心から嬉しく思っております。

本機を正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこのオーナーズマニュアルをよくお読みください。それによって本機の性能が十分に発揮され、最高のグレードで音楽再生をお楽しみいただくことができます。お読みになった後は保証書、安全上のご注意と共に大切に保管してください。

末永くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

# 目次

使用上の注意	1
本機の特徴	2
お使いの前に	4
各部の名称と用途	6
組立て方法	10
接続方法	14
操作方法	16
トーンアームの交換方法	17
ブロックダイアグラム	19
規格	20
修理に出される前に	21
アフターサービスと品質保証について	23

## 設置する場所

- ・ 外部からの振動を受けにくく、水平で安定した場所を選んでください。
- ・ テレビやカラーモニターの近くに本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

## 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中に本機を動かすと針飛びが起き、再生針やレコード盤を傷つける事があります。

## 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずターンテーブルを停止させレコード盤を取り外してから電源を切ってください。さらに電源ケーブル、フォノケーブルを抜き、ターンテーブル、ターンテーブルシートを外してから移動させてください。

## 次のような場所は避けてください

- ・ 直射日光のあたる所
- ・ 湿気が多い所や風通しの悪い所
- ・ 極端に暑い所や寒い所
- ・ 振動のある所
- ・ ホコリの多い所
- ・ 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

## 上に物をのせない

本機の上に物を乗せないでください。

## 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上のにせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ離して入れてください。

## 結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、機器が結露します。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、使用することが可能になります。

夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

## 注油について

スピンドルには専用のオイルが使われておりますので、お客様で注油をしないでください。

## 製品のお手入れについて

- ・ 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取った後、乾いた布で拭いてください。
- ・ ダストカバーなどのアクリル部分を強くこすると傷がつくことがありますので、ご注意ください。
- ・ アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装が傷むことがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- ・ 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- ・ お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 修理・調整について

修理、調整などが必要なときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへご依頼ください。

## 安全上のご注意



本機は重いので、開梱や組立て、持ち運び、設置の際は充分にご注意ください。

# 本機の特徴

## ベルトドライブ

モーター由来のノイズをベルトを介することで減衰させ、スムーズな回転を得る駆動方式を採用。

## 回路構成

常に正確な回転を保つため、32bit マイコンより D/A 変換された正弦波を高出力オーディオアンプで増幅して AC シンクロナスモーターを駆動。

## ストロボ・スコープ

正確な回転数調整に便利な LED 式の反射視型ストロボ・スコープを搭載。

## アームベース

20mm 厚の真鍮クロムメッキ・スピン仕上げを採用。別売のアームベースに交換することにより、さまざまなトーンアームが取り付けられ、音の変化を愉しむことができます。

## トーンアーム

カートリッジの交換が容易なユニバーサル型スタティックバランス・トーンアームを標準で付属。

## 重量級ターンテーブル

回転精度を高めるためアルミ地金から削り出した、自重 5.0kg の重量級ターンテーブル。慣性モーメントは約  $0.7\text{t}\cdot\text{cm}^2$  を実現。

## 高剛性メインシャーシ

15mm 厚のアルミ削り出し板をベースに、内部の主要部品が吊り下がるアンダースラング制振構造を採用。

## 大型スピンドル

安定した回転をサポートするボールベアリング仕様の大口径ポリエーテルエーテルケトン (PEEK) 軸受けを採用したスピンドル。

## フローティングマウント

メインシャーシへ振動の伝わりを遮断するため、電源トランスとモーターを浮かせて搭載。

## ハイブリッド制振

筐体の底面は、共振点の分散を図った木材と金属とのハイブリッド制振構造。

## 大口径インシュレーター

オーディオラック等から伝わる不要振動をカットするため、材質の異なるゴムとスプリングとを合体させたダンパーを採用。

メインシャーシ自体の不要振動も抑制。

## マグネシウム合金ヘッドシェル

LUXMAN ロゴ入りのマグネシウム合金製ヘッドシェル。

## LED スタイルスライト

暗所での操作時に針先を照らす脱着式高輝度 LED タイプのスタイルスライトを付属。

## AC インレット

電源ケーブルの脱着が可能な AC インレット。

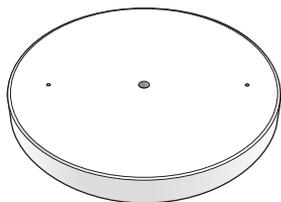
# お使いの前に

## 付属品の確認

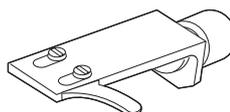
次の付属品が同梱されていることをご確認ください。

※ カートリッジは付属していません。

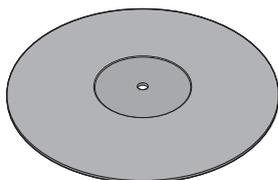
- ターンテーブル



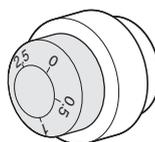
- ヘッドシェル



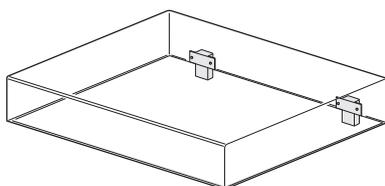
- ターンテーブルシート



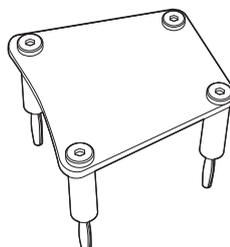
- カウンターウェイト



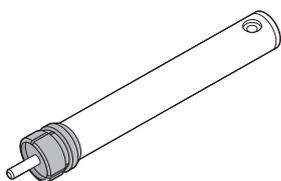
- ダストカバー



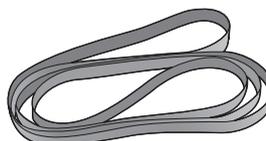
- プーリーカバー



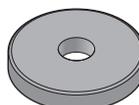
- スタイルスライト



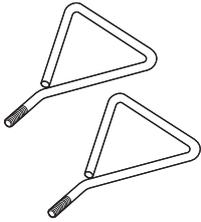
- ゴムベルト



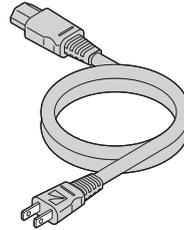
- EP アダプター



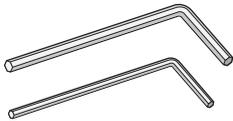
- ・ターンテーブル取り付けハンドル (2 個)



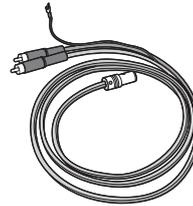
- ・電源ケーブル (JPA-10000)



- ・トーンアーム調整レンチ (2.5mm) /  
アームリフター調整レンチ (1.5mm)



- ・フォノケーブル (アースコード付き)  
※ 出荷時は本体に接続されています。



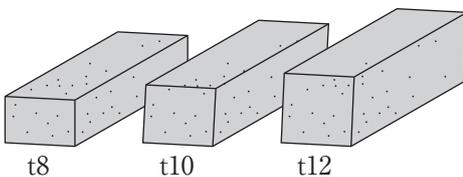
- ・アームベース取り外しレンチ (3.0mm)



- ・スタイラスライト・コネクタ用防塵キャップ  
※ 出荷時は本体に取り付けられています。



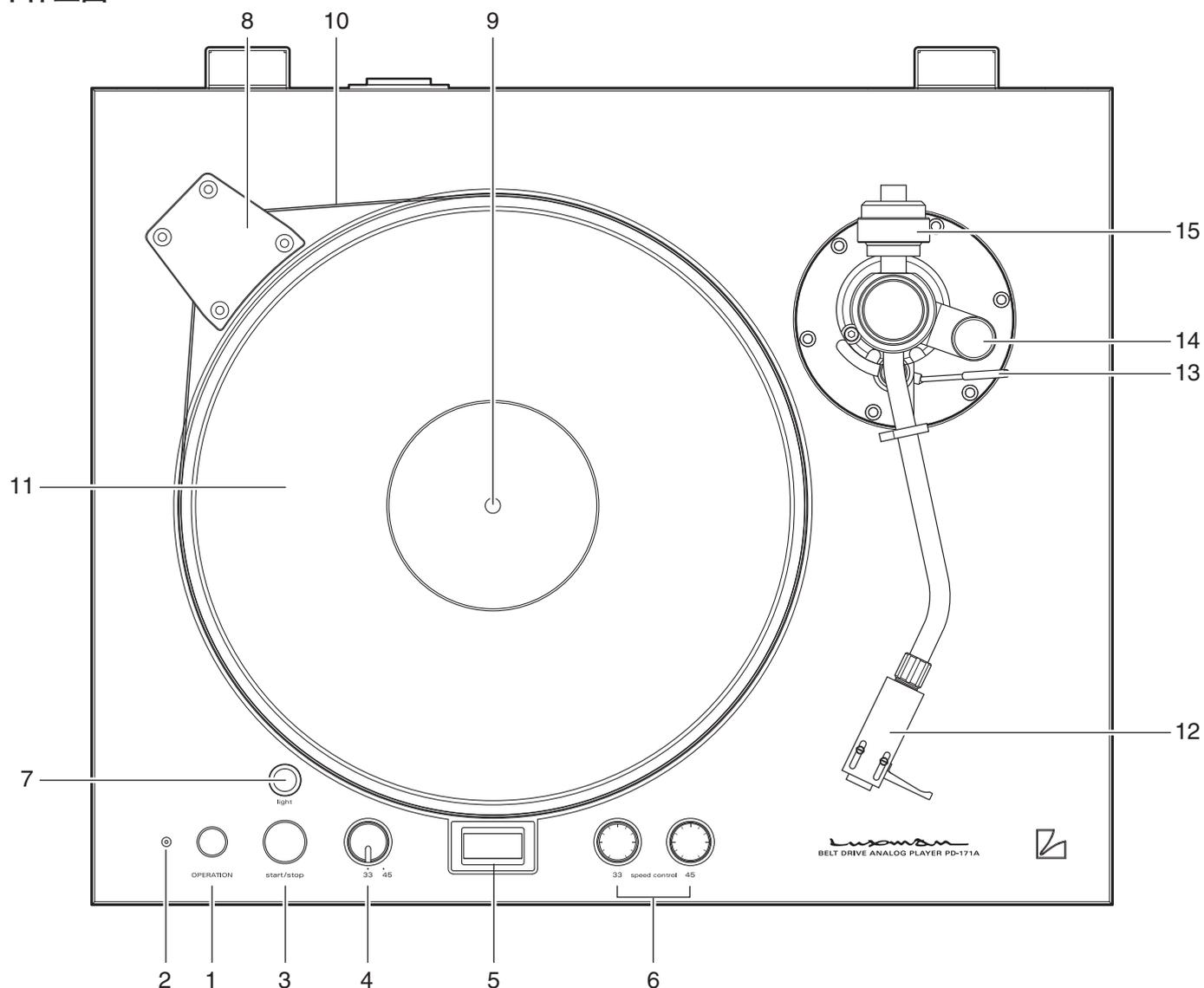
- ・フォノケーブル固定クッション



- ・印刷物  
保証登録書 (梱包箱添付)  
安全上のご注意  
サービス情報  
取扱説明書 (本書)

# 各部の名称と用途

## 本体上面



### 1. 電源スイッチ (OPERATION)

電源をオン / オフするためのスイッチです。

### 2. オペレーション・インジケータ

電源を入れると、このインジケータが点灯します。

### 3. スタート・ストップスイッチ (start/stop)

このスイッチを押すと、ターンテーブルが選択された回転数で回転を始めます。

ストップのスイッチを兼ねていますので、回転中に再度押すとターンテーブルが停止します。

#### 4. 回転数切替スイッチ (33 / 45)

ターンテーブルの回転数を、33 回転と 45 回転に切り替えるスイッチです。  
お聴きになりたいレコード盤の回転数に合わせて選択してください。

#### 5. ストロボ・スコープ

ストロボ・スコープ内の数字 (33 もしくは 45) が停止して見えるように回転数微調整ボリュームを合わせてください。

#### 6. 回転数微調整ボリューム (33 / 45 speed control)

33 回転 回転数切替スイッチを 33 回転に合わせて、ストロボ・スコープから見える数字 (33) が停止して見えるように調整します。  
45 回転 回転数切替スイッチを 45 回転に合わせて、ストロボ・スコープから見える数字 (45) が停止して見えるように調整します。

#### 7. スタイラスライト・コネクター (light)

部屋の照明を落としたときに手元を照らす事ができます。  
防塵キャップを外し、付属のスタイラスライトを取り付けてください。

#### 8. プーリーカバー

回転するプーリーを保護するカバーです。  
ターンテーブルを回転させる時には必ず装着してください。

#### 9. センター・スピンドル

レコード盤を装着するガイド穴です。  
EP 盤を演奏する場合はここに EP アダプターを装着してください。

#### 10. ベルト

モーターの回転をターンテーブルに伝えるためのベルトです。

#### 11. ターンテーブルシート

ターンテーブルの鳴きを抑え、レコード盤をターンテーブルに密着させるためのゴムシートです。

#### 12. ヘッドシェル

カートリッジをトーンアームに装着するための部品です。

#### 13. アームリフター

トーンアームを上下する時に使用する装置です。

#### 14. アンチスケーティング調整つまみ

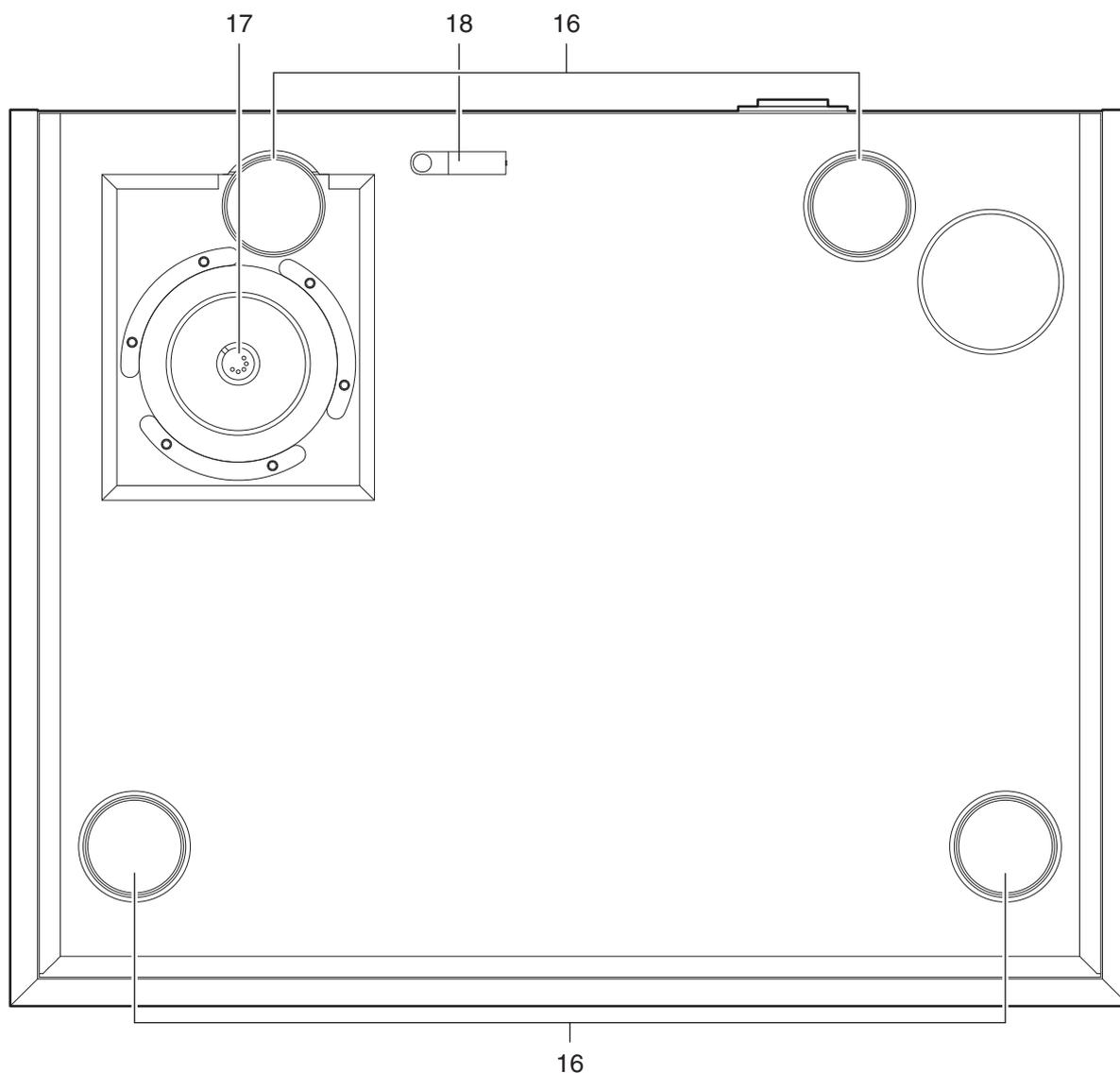
レコードの演奏中にトーンアームにかかる内向力を打ち消すための装置です。  
お使いのカートリッジの設定値に合わせてください。

#### 15. カウンターウェイト

トーンアームのバランスと針圧を調整するおもりです。

# 各部の名称と用途

## 本体裏面



### 16. インシュレーター

プレーヤー全体を支えるとともに、ハウリングや外部からの振動を吸収します。

このインシュレーターは出荷時に一番低く設定されていますが、10mmまで高くする事が可能です。

本機を水平にする時にお使いください。

### 18. ケーブルホルダー

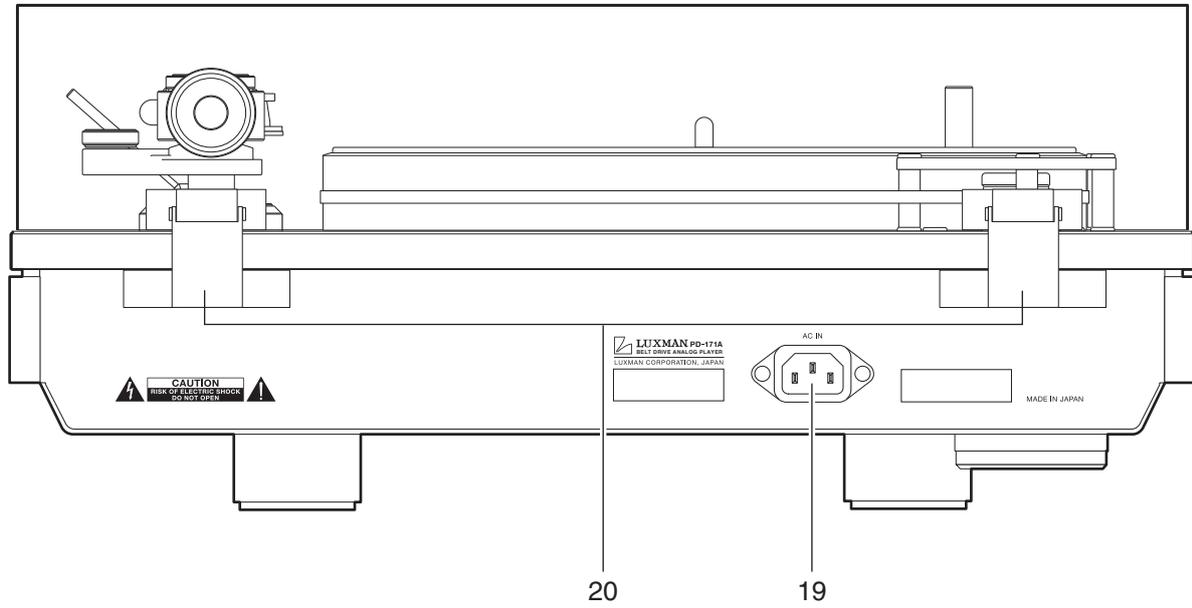
フォノケーブルを固定するホルダーです。

### 17. トーンアームコネクター

トーンアームのDIN5Pコネクターにフォノケーブルを接続します。

(出荷時、フォノケーブルは本体と接続済みです。)

## 本体背面



### 19.AC インレット (AC IN)

付属の電源ケーブル (JPA-10000) を接続して、壁のコンセントから電源を供給します。

### 20.ヒンジ受け

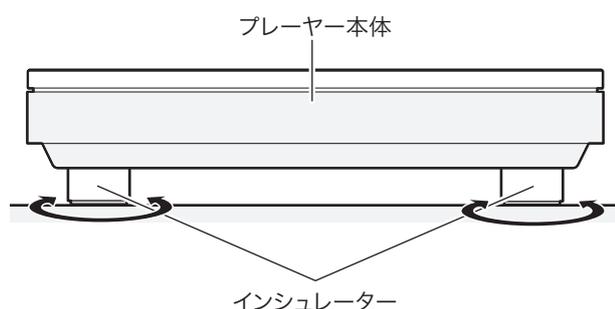
ダストカバーを取り付ける金具です。  
ダストカバーのヒンジを、本体背面のヒンジ受けに差し込んでお使いください。

# 組立て方法

組立てが完了するまで、本機の電源を入れないでください。

## 1. 本体を設置する

なるべく水平なラックに設置してください。  
傾きがある場合は裏面四隅のインシュレーターを回転させ、プレーヤー全体の水平バランスを調整してください。

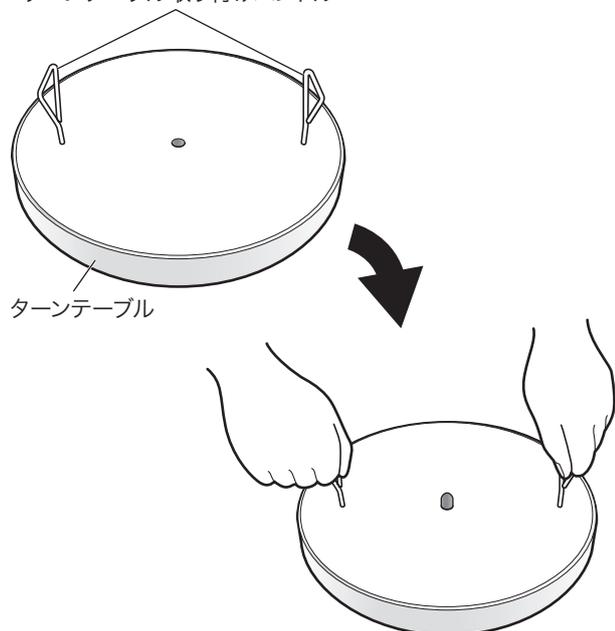


左回りで上昇、右回りで下降します。

## 2. ターンテーブルをのせる

付属のターンテーブル取り付けハンドルをターンテーブル上部に装着し、それを持って本体のセンタースピンドルに乗せます。  
ターンテーブルは必ず両手で持ち、センタースピンドルに無理な負荷がかからないように注意しながら取り付けてください。

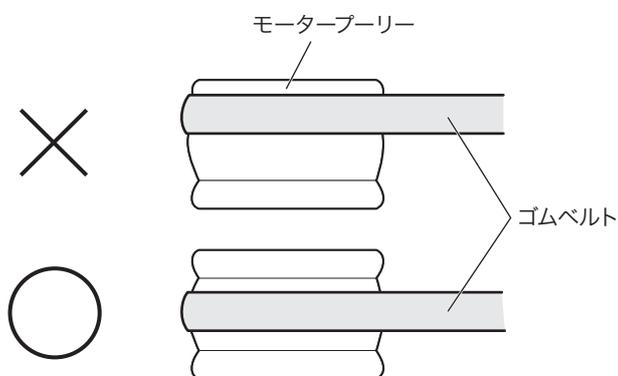
ターンテーブル取り付けハンドル

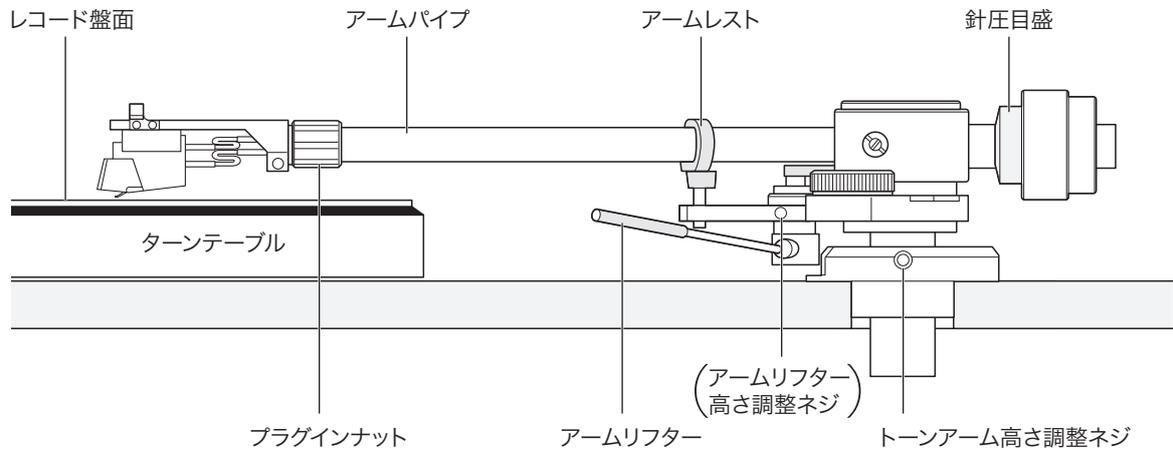


ターンテーブルは重いので、取り扱いには充分にご注意ください。

## 3. ベルトをかける

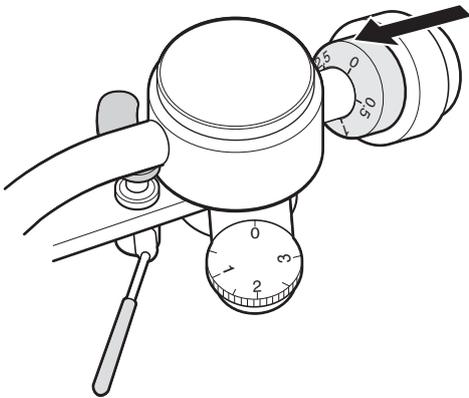
はじめはターンテーブルにかけてください。その後にターンテーブルからベルトをつまんでプーリーにかけます。  
手でターンテーブルを数回まわし、ベルトがプーリーの正しい位置にかかっていることを確認してください。





#### 4. カウンターウェイトの取り付け

カウンターウェイトの針圧目盛を前方に向け、トーンアームの後方にカチッと止まる位置まで差し込んでください。

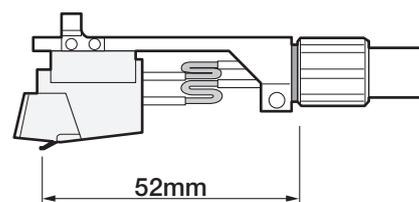


#### 5. ヘッドシェルにカートリッジを取り付ける

本機にカートリッジは付属していません。お手持ちのカートリッジをヘッドシェルに取り付けてください。リードワイヤー（下表参照）をカートリッジに接続し、カートリッジに付属しているビスとナットで、本機のヘッドシェルにしっかりと取り付けてください。ゆるんでいるとハム音の原因になることがあります。接続する端子につきましては、お手持ちのカートリッジの取扱説明書をご覧ください。

白	Lch +
青	Lch -
赤	Rch +
緑	Rch -

ヘッドシェルとトーンアームの取り付け面から針先までが52mmとなるようにカートリッジを取り付けます。ヘッドシェルの側面にそってカートリッジが平行になるよう、まっすぐに固定してください。



なお、本機に搭載しているトーンアームのオーバーハングは15mmです。

# 組立て方法

## 6. 水平バランスの調整

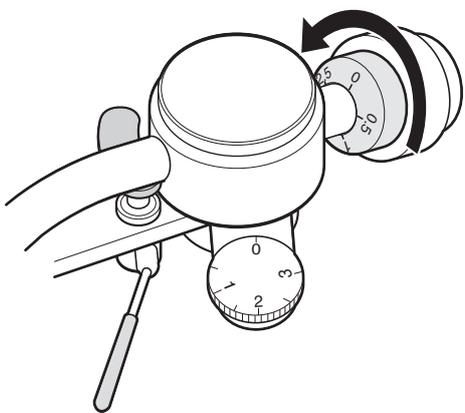
トーンアームをアームレストより外し、フリーの状態にしてください。カウンターウェイトはまわすと前後しますので、トーンアームの水平バランスが取れるように細かく調整してください。

カートリッジの針先はとてもデリケートです。無理な力がかからないよう充分にご注意ください。

## 7. 針圧調整

はじめにトーンアームの水平バランスが取れた状態でカウンターウェイトが動かないように注意しながら、針圧目盛を0に合わせてください。

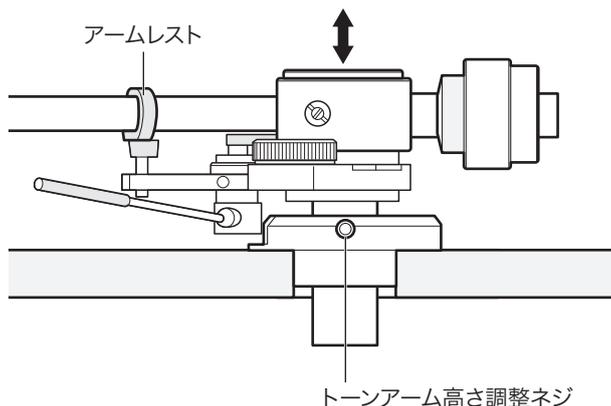
次に下図の方向へまわして、必要な針圧値に設定してください。最適値はお手持ちのカートリッジの取扱説明書をご覧ください。本機は自重4～12 gのカートリッジが適しています。重量級カートリッジにはオプション（別売）のヘビーウェイトをご使用ください。



針圧目盛はカウンターウェイトに固定されておらず、自由に回転するようになっています。

## 8. トーンアームの高さ調整

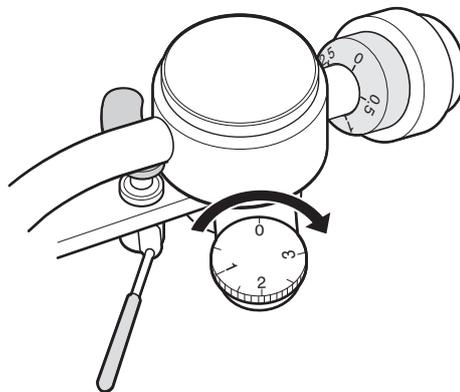
トーンアームの高さを変えることで、レコード盤面とカートリッジ底面のすきまが適正になるよう調整します。アームベースにあるネジをトーンアーム調整レンチでゆるめて上下に動かし、トーンアームとレコード盤面が水平になる位置でネジをしめて固定します。



トーンアームはアームベースのネジだけで固定しています。ネジをゆるめる場合は必ずトーンアームをアームレストに収納し、全体を手でささえ落下を防止してください。

## 9. アンチスキッピングの調整

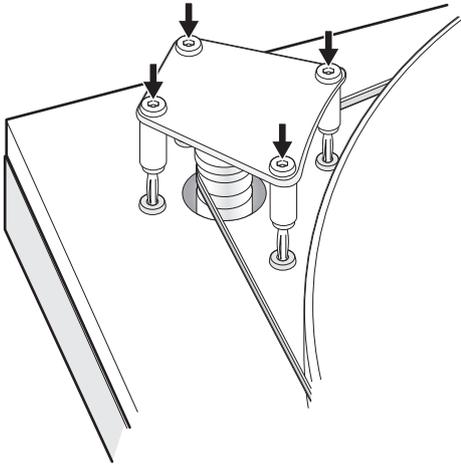
アンチスキッピング調整つまみをまわして、お使いのカートリッジの針圧に適した値にセットしてください。



アンチスキッピングは、インサイドフォースキャンセラーとも呼ばれます。

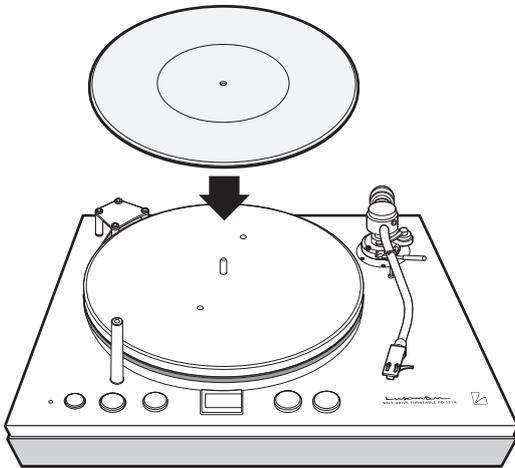
## 10. プーリーカバーの装着

下図のとおり四隅均等にゆっくり差し込んでください。



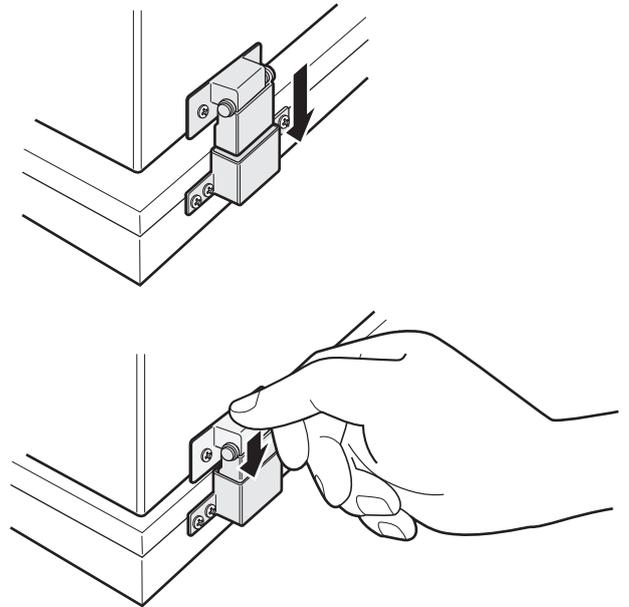
## 11. ターンテーブルシートの装着

中央にへこみのある面が表です。  
センタースピンドルに合わせて取り付けてください。



## 12. ダストカバーを取り付ける

ダストカバーのヒンジは差し込み型です。  
本体背面のヒンジ受けの奥までダストカバーのヒンジをまっすぐに差し込んでください。

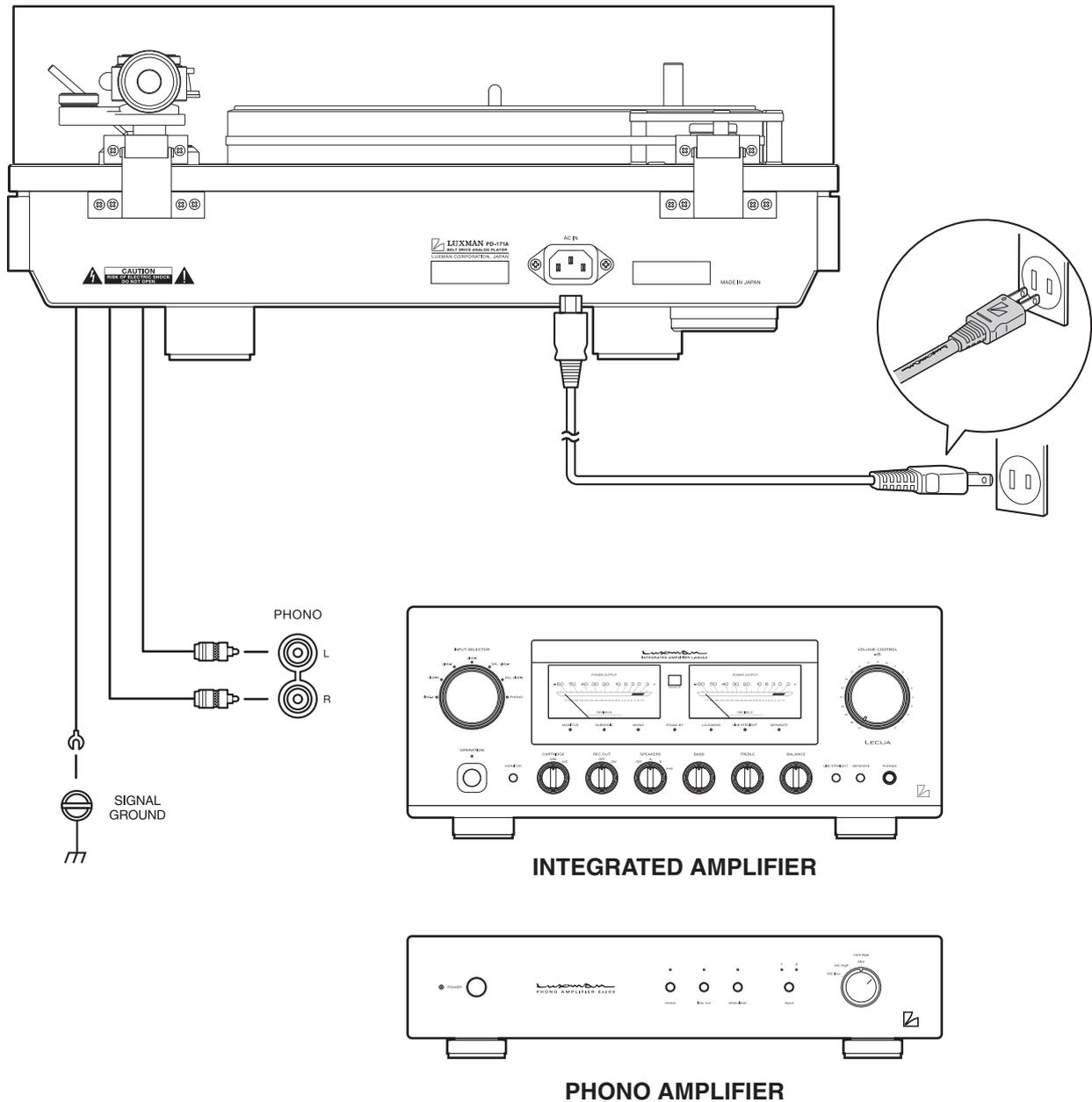


---

ダストカバーの亚克力部分を強く押し込むと割れるおそれがありますので、ヒンジ部分を左右同時に押し込んで差し込むようにしてください。

---

# 接続方法



## 接続する前に

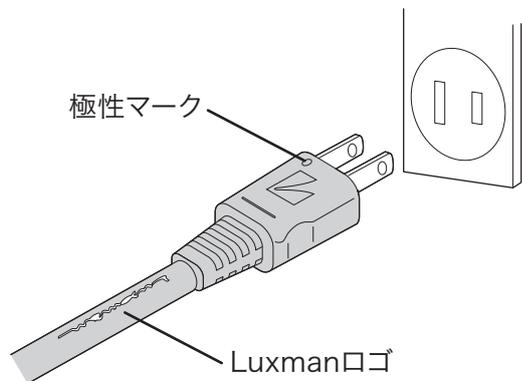
他の機器を接続する前に、付属の電源ケーブルのジャック部（穴が3つある方）を本機の AC インレットに接続してください。

接続するときは、思わぬノイズの発生による事故を防止するため、本機の電源と併用機器の電源をすべてオフにしてください。

## 電源の接続

付属の電源ケーブルを使用し、AC プラグをリスニングルームなどにある AC100V のコンセントに差し込んでください。ケーブル本体に印字された Luxman ロゴが見えるように（極性マークがコンセントに向かって左側にあるように）AC プラグを差し込むと、電源極性が正しく設定されます。

一般的に AC コンセントは、向かって左側の若干長い穴が接地用端子（W 表記）になっています。



## フォノイコライザー・インテグレートッドアンプなどへの接続

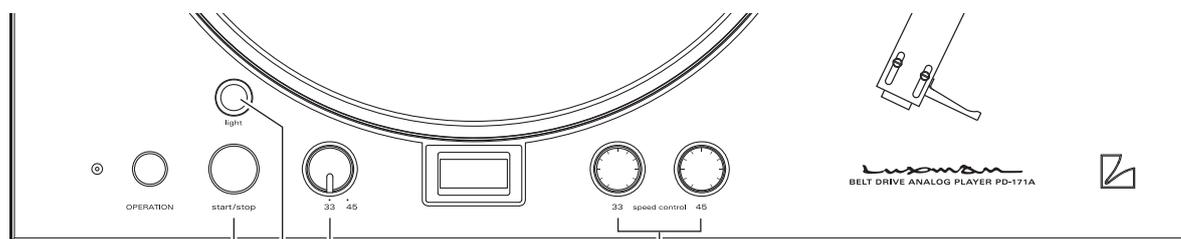
フォノケーブルのピンプラグをフォノイコライザーやインテグレートッドアンプの PHONO 端子に接続してください。

## アース用コードの接続

併用するフォノイコライザーやインテグレートッドアンプのシグナルグラウンド端子に接続してください。

接続しないと音楽信号にハムノイズが乗ることがあります。

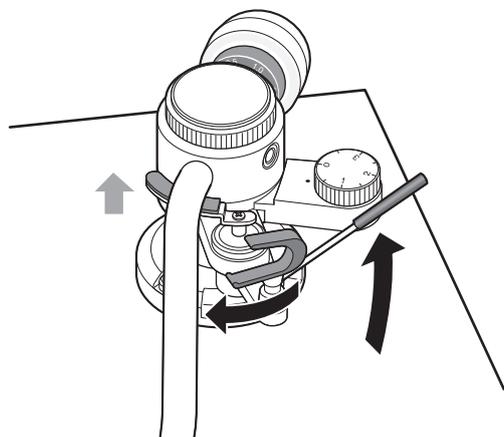
# 操作方法



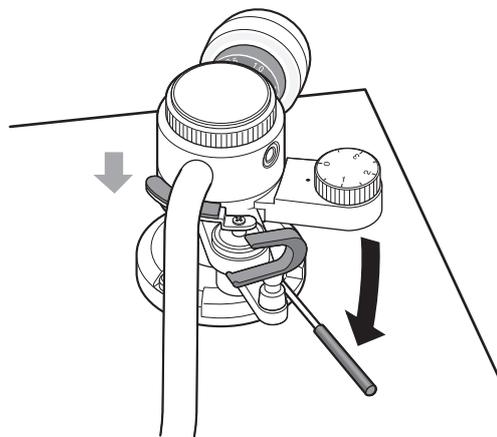
スタート・ストップスイッチ   スタイルスライト・コネクター   回転数切替スイッチ   回転数微調整ボリューム

## 再生方法

1. 暗所での再生時など、必要に応じてスタイルスライトをスタイルスライト・コネクターに接続して点灯させます。
2. レコード盤をセンタースピンドルに合わせターンテーブルに装着します。  
EP 盤は EP アダプターを使用して装着します。
3. レコード盤に合わせて回転数切替スイッチで回転数 (33 もしくは 45) をセットしてスタート・ストップスイッチを押します。
4. アームリフターを上げ、トーンアームをアームレストから外し、再生させたい位置まで移動させます。



5. アームリフターを下げるとトーンアームが下がり、再生が始まります。



6. 再生が終わりましたらアームリフターを上げ、トーンアームをアームレストに戻し、スタート・ストップスイッチを押してターンテーブルを停止させます。

針先の破損やレコード盤の傷を防ぐため、トーンアームの上げ下げにはなるべくアームリフターをお使いください。

本製品 (PD-171A) は取り付けられているアームベースをはずし、別売のアームベースに交換することでお手持ちのトーンアームを取り付けることができます。

別売のアームベースと適合トーンアームは以下の表のようになっています。

製品名	適合トーンアーム	内容物
OPPD-AB1	SME 3009R / 3010R / Series M2-9R / Series M2-9, M2-10 / Series IV, V	アームベース、取り付けレンチ、アーム取り付けネジ (4本) <sup>*1</sup> 、取扱説明書
OPPD-AB2	FR64 / 64S / 64FX、IKEDA IT-345	アームベース、取り付けレンチ、取扱説明書
OPPD-AB3	SAEC WE-308	
OPPD-AB4	SAEC WE-407 / 23	
OPPD-AB5	ORTOFON AS-212S / RD-212D	
OPPD-AB6	ユニバーサル (アーム取り付け穴なし)	

※1：添付されているアーム取り付けネジ (4本) は Series M2-9、M2-10、Series IV、V を取り付けするためのネジです。トーンアームに付属しているネジを使用せず、別売アームベースに添付されているネジを使用してください。

トーンアームの交換方法は以下の手順にしたがい、本体 (PD-171A) やアームベースに傷を付けないよう注意して行ってください。また、本体 (PD-171A) の電源ケーブルはあらかじめ抜いてから作業をしてください。取り付けからのアームの調整はお手持ちのトーンアームの取扱説明書の記載内容にしたがい調整してください。

## 1. 本製品 (PD-171A) のアーム及びアームベースの取り外し

本体よりターンテーブルマット、ターンテーブル、ベルトをはずし、ダストカバーを付けたまま本体を反転します。(柔らかい布等を台に敷いてからダストカバーを載せてください。)

トーンアームのフォノケーブルをトーンアームより引き抜いてください。

フォノケーブルを固定しているケーブルホルダーのネジを緩め、フォノケーブルを本体より取り外します。フォノケーブルを本体から外したら本体を正規の位置に戻します。

本体に付属しているアームベース取り外しレンチ (3.0mm) を使用して本体についているアームベース取り付けネジ (6本) を取り外します。(取り外したネジは別売のアームベースを取り付けるときに使用しますので一時保管してください。)

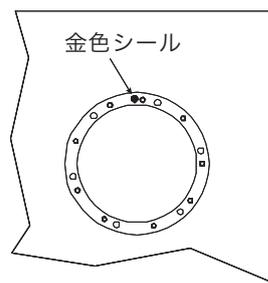
## 2. トーンアームのアームベースへの取り付け

お手持ちのトーンアームを購入したアームベースに取り付けるときは別売アームベースに添付されている取扱説明書にしたがい取り付けしてください。

## 3. アームベースの本体 (PD-171A) への取り付け

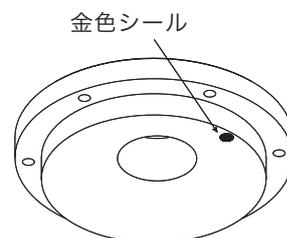
アームベースカバーを外した本体 (PD-171A) に金色のシールが貼られていますので、金色シール同士が重なるようにアームベースを置き、本体 (PD-171A) のネジ穴と合うように位置を調整します。次に、元のアームベースから取り外したネジを使用し、確実にネジ止めしてください。

注：ネジ締めが緩いと音質に悪影響を与えることがありますのでしっかりと締めてください。



本体 (PD-171A) からアームベースカバーを取り外した図

本体取り付け時に金色シールが合うように配置する。



アームベースの金色シール貼り付け位置 (一例)

# トーンアームの交換方法

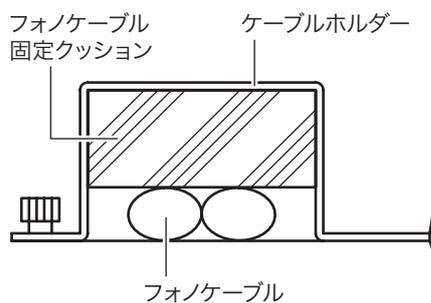
アームベース、トーンアームの取り付けが完了したら、はずしたターンテーブル、ターンテーブルシート、ベルトを本体に取り付けます。

## 4. フォノケーブルの取り付け、固定

トーンアームに付属のフォノケーブルをトーンアームに確実に接続します。

本機に付属のフォノケーブル固定クッションでフォノケーブルを固定します。

取り付けに最適な厚みを選んで使用してください。

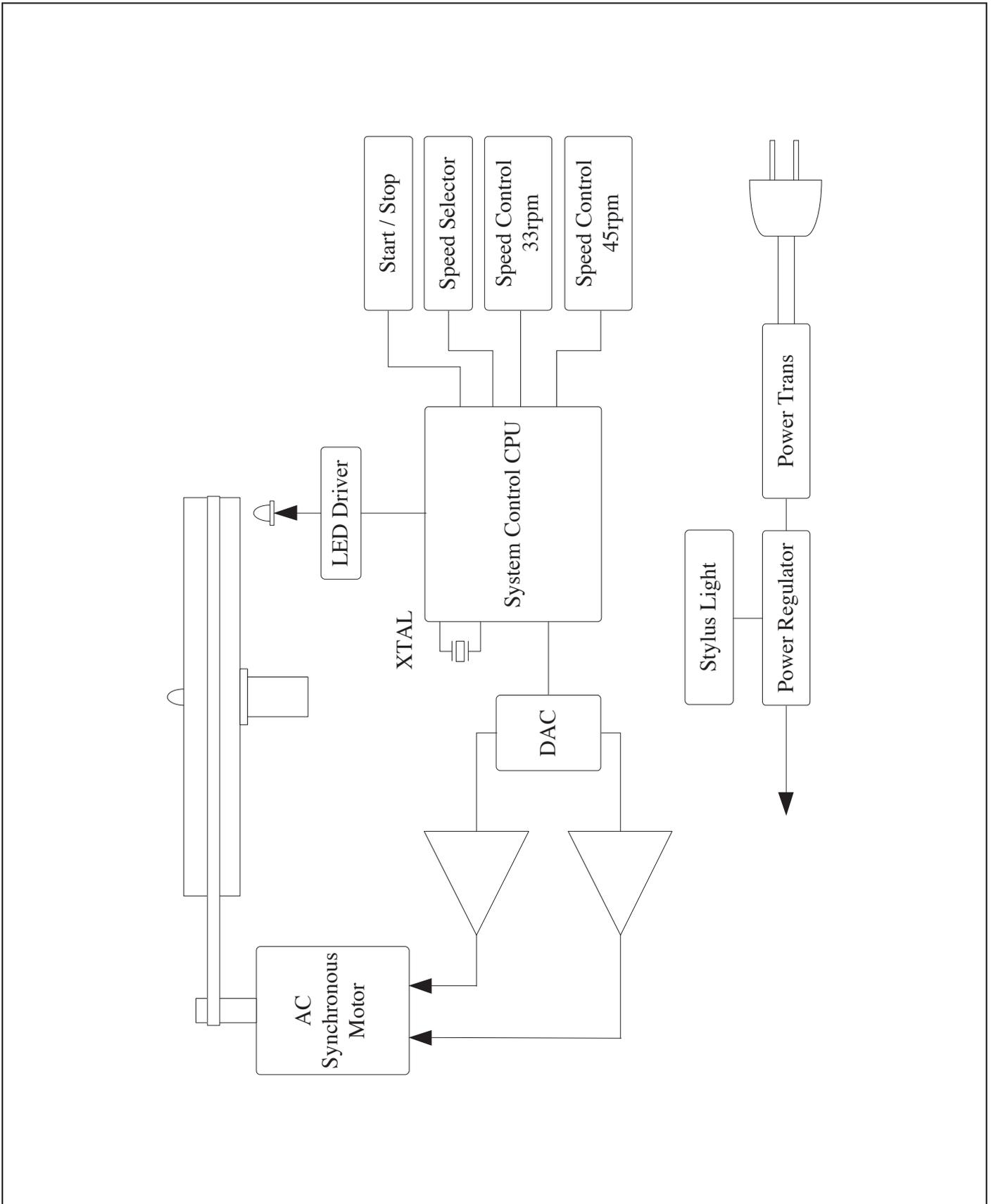


## 5. トーンアームの調整

各種調整は、お手持ちのトーンアームの取扱説明書にしたがい行ってください。

以下は調整の一例です。

- ・トーンアーム高さ調整
- ・オーバーハング調整
- ・ラテラルバランス調整
- ・アンチスキッピング調整  
(インサイドフォースキャンセラー調整とも呼ばれます)
- ・針圧調整など





ご使用中に、何らかの原因で故障と間違えることがあります。修理に出される前に下記の表、および併用機器の取扱説明書をご覧のうえ、ひとつお確認してください。故障の原因がわからない場合は、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターへお問い合わせください。なお、修理の依頼をお受けした場合は、故障でなくても点検代、出張費などをいただくことがあります。

症 状	原 因	対 策	参照ページ
電源スイッチを押しても電源が入らない	・電源プラグが本体の AC インレットや家庭用コンセントから外れているか、確実に差し込まれていない。	・電源プラグを確実に差し込む。	15
ターンテーブルが回転しない	・ベルトが正しくかかっているか。 ・電源スイッチがオンになっていない。	・ベルトを正しくかける。 ・電源スイッチをオンにする。	10
ストロボが流れる	・回転数調整が取れていない。	・回転数微調整ボリュームで正しく調整する。	7
音が出ない	・リードワイヤーとカートリッジ、またはヘッドシェルとトーンアームの接続が不完全。	・リードワイヤーを確実に差し込む。プラグインナットをしめてヘッドシェルとアームをしっかりと固定する。	11
	・フォノケーブルが正しく接続されていない。	・フォノケーブルを正しく接続する。	8、14～15
	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどの設定や接続が正しくない。	・機器間の接続、フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどの電源、ボリューム位置、セレクターの設定などを確認する。	
音量が小さい、または大きい	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどのカートリッジ設定が正しくない。	・フォノイコライザーやインテグレートッドアンプなどのカートリッジ設定をお手持ちのカートリッジの種類 (MC/MM) に合わせる。	
音像がふらつく、左右のバランスが悪い	・プレーヤー本体が傾いている。	・本機を水平で安定した場所に設置する。インシュレーターをまわして調節する。	8、10
	・アンチスケーティングの調整が正しくない。	・アンチスケーティングを正しく調整する。	12
	・カートリッジが水平に取り付けられていない。	・水平バランスを調整する。	12
演奏スピードが正しくない	・回転数が正しく調整されていない。	・レコード盤に合わせて回転数を選び、回転数微調整ボリュームで正しく調整する。	7

# 修理に出される前に

症 状	原 因	対 策	参照ページ
ハムノイズ（ブーン音）が出る	・アース線が接続されていない。	・アース線を GND 端子に接続する。	14～15
	・フォノケーブルが正しく接続されていない。	・フォノケーブルを正しく接続する。	8、14～15
	・ヘッドシェルとカートリッジが正しく固定されていない。	・ヘッドシェルとカートリッジをビスとナットで正しく固定する。	11
音とびする、ノイズ（ポツポツまたはバチバチ音）が乗る	・針圧が正しく調整されていない。	・お手持ちのカートリッジに合わせて針圧目盛を適切値に設定する。	12
	・レコード盤に傷や反り、汚れがある。静電気を帯びている。	・傷や反りのあるレコード盤の使用を避ける。 レコード盤を市販のクリーナーなどでクリーニングする。	
	・針先に汚れがある。	・針先の汚れを取る。	
	・振動のある場所に設置されている。	・外部からの振動により音とびすることがあるため、本機を水平で安定した場所に設置する。	
スタイラスライトが点灯しない	・スタイラスライトが確実に差し込まれていない。	・防塵キャップを外し、スタイラスライト・コネクタに確実に差し込む。	7、16

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときは、電源ケーブルを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。

これで解決しないときは、お買い上げの販売店、もしくはお近くの弊社サービス・センターにご相談ください。

ラックスマンのオーディオ製品には、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで、数多くの厳しいチェックを施し、万全の品質管理を期していますが、万一本機が故障したときは弊社サービス・センターまたはお求めの専門店までご連絡ください。状況に応じた出張修理または持ち込み修理をさせていただきます。なお、遠隔地の場合は修理品のご送付をお願いすることもあります。ご容赦ください。

本機の保証期間は購入日より起算して2年間（ただし、消耗品は1年間）です。この期間中に発生した自然故障は一切弊社の責任において無料修理させていただきます。保証登録書は、本機の梱包箱に添付されておりますので、お買い上げ販売店で、販売年月日、店名の記入捺印を受けた上、弊社に送付してください。折り返し、保証書を弊社よりお送りいたします。保証期間内の修理お申しつけの節は必ず弊社発行の保証書を添えてください。保証期間外、保証書がない場合の修理については実費でお引き受けします。

修理のご依頼、お問い合わせにつきましては、別紙のサービス情報をご覧ください。

